

かみいち総合病院改革プラン評価表(経営効率化指標)

1. 財務に係る数値目標

主な数値目標	平成23年度			平成24年度		取組内容	評価委員の 評価・指摘事項
	計画値	実績値	達成状況	計画値	実績値		
経常収支比率	95.1	95.7	A	98.0		<p>1. 交付金による繰入が精神病床を27床減少したことに伴い、約1,700万円減少したことで、医業収益が2.6%となったにも関わらず、経常収支比率が平成22年度より1.0ポイント減となった。しかし、改革プランの数値目標は達成した。</p> <p>2. 職員給与比率は昨年より0.3ポイント上昇したが、目標数値は達成した。</p> <p>3. 入院患者が4月～6月に大きく落ち込んだため、病床利用率は前年より低下し、数値目標は達成できなかった。在院日数は0.6日短くなったが、目標には届かなかった。</p>	
職員給与比率	61.1	60.1	A	58.5			
病床利用率(一般)	78.2	74.2	B	78.9			
平均在院日数(一般)	17.0	17.6	B	15.5			
医業収支比率	89.6	90.0	A	91.6			
不良債務比率	0	0	A	0			
患者1人1日当たり診療収入(入院)	28,922	28,167	B	28,732			
患者1人1日当たり診療収入(外来)	9,187	9,703	A	10,054			
患者1人1日当たり診療収入(医師)	323,944	303,491	B	351,757			
患者1人1日当たり診療収入(看護師)	54,204	50,684	B	51,531			
患者1人1日当たり薬品費	2,713	2,609	B	2,688			

2. 医療機能に係る数値目標

主な数値目標	平成23年度			平成24年度		取組内容	評価委員の 評価・指摘事項
	計画値	実績値	達成状況	計画値	実績値		
1日平均患者数(入院)	170.4	164.2	B	169.8		<p>患者数は外来が目標達成したが、入院が未達となった。4～6月の落ち込みを最後までカバーできなかったことが要因。</p> <p>紹介率は中新川地域連携ネットワークの立ち上げ、地域連携の強化(事務職員1名増)などにより若干上がったものの、十分成果をみていない。</p>	
1日平均患者数(外来)	470.1	479.7	A	476.0			
入院患者1000人当たり手術件数	14.0	13.5	B	14.0			
紹介率(%)	30.0	23.2	B	30.0			

(注) 1. 達成状況の欄は、A: 目標以上 B: 一定の実績 C: 実績なし により自己評価した上で評価委員で評価されたもの

かみいち総合病院改革プラン 評価表 平成23年度分

取組項目	番号	内容	指標	目標値 H23	実績値 H23	自己評価	評価委員	目標値 H24	全体計画	実績及び成果等	平成23年度活動計画	評価委員の指摘事項等	
② 経費削減・抑制対策	1	医事委託業務の拡大による正規職員(嘱託・臨時含む)の削減	職員数	6,000千円 (2人減)	6,762千円 (3人減)	A			(事務職員)平成22～23年度 合計2人減 (削減額 22～23年度 12,000千円)	正規職員1名、嘱託職員2名が22年度で退職。業務委託の拡充と派遣社員1名を充当することで対応。結果として医事課全体の人件費の削減に至った。 24年度以降はDPC等の関係で大きな人件費削減は困難と考える。	・医師、看護師、コメディカルスタッフは現在も人員不足の為、削減対象は事務部門に限る。 ・引き続き医事の委託業務範囲を見直しを行い、正規職員の削減に努める。		
	2	時間外勤務手当の抑制 (20年度当初予算比毎年5%減 下記数値は手当合計額) H20 22,864千円(補正後予算 31,374千円) H21 予算(医師除) 21,720千円(補正後(医師除) 35,581千円) H22 予算(医師除) 20,635千円(補正後(医師除) 29,290千円) H23 予算(医師除) 23,999千円	人件費	1,000千円 (22年度対削減額)	891千円	B		1,000千円	削減額 21～23年度合計 11,600千円	レセプト業務の委託化など嘱託職員の業務量減少策を講じたが、全体の時間外手当を大きく減らすことができなかった。特に医師の時間外削減に向けて特定の医師への医師事務作業補助者を充当することができなかった。	・医師事務作業補助者の業務処理範囲の拡大と効率化を図り、時間外勤務の抑制を行う。 ・医療スタッフのさらなる協働、連携の推進 ・業務委託の業務内容見直し・早上がり運動の実施		
	3	医療材料費の抑制	経費	6,000千円	6,530千円	A				・薬品費、診療材料の値引き交渉の強化 平成22年4月からさらなる値引きに向けての交渉強化 医薬品8.1%→10%、診療材料3%値引き率 (削減額 22年度 6,000千円 23年度 4,000千円) ・平成23年度からSPD(院内物流の外部委託)の導入 (削減目標 23年度 2,000千円 24年度 4,000千円)	薬品については、自治体病院協議会の医薬品値引調査結果等の情報をもとに、価格交渉(年2回)を粘り強く進め、目標を上回る11.5%を確保した。 (5,550千円削減) ・診療材料はSPDセンター本格導入は24年4月からだが、1月より一部診療材料の値引き交渉を行う。結果1～3月まで少額であるが680千円の経費削減ができた。 また手術室での医療材料の見直しを進め、300千円の削減ができた。	現状の取り組みだけではさらなる医療材料費の削減が困難なため、今秋を目処にSPDを導入して、全体の医療材料費の抑制・削減を行う。	
	4	業務委託の内容及び金額の見直し ・施設管理 ・外来受付など	経費	4,600千円	2,896千円	B		4,500千円		・施設管理委託内容の見直し 契約年数の複数年化 (削減額目標 21年度～23年度 合計 20,600千円) ・外来診療受付の業務委託契約を競争入札実施 (削減額目標 21年度～23年度 合計 12,000千円) 病院総合情報システム業務委託 H21 27,549千円→26,333千円	複数年契約により、リネン、設備で一定の成果は得られたものの、給食、医事委託など削減限界のものも多く、競争入札によっても大きく削減することができない状況となった。 今後は医療機器メンテナンス、SRLの検査契約など年々上昇の一途をたどる契約に集中して、経費削減業者を使って削減を行っていかねばならない。	22年12月実施の購買監査においても、価格の妥当性はあるものの、競争原理が働いていないとの監査結果に基づき、23年10月に医事業務委託の競争入札を実施する。	
<p>総括:事務部門の人件費削減を中心に実施してきたが、運営に影響が出る部分もあり、削減分野を診療材料や経費といった分野に特化して行っていく必要がある。</p>													

かみいち総合病院改革プラン 評価表 平成23年度分

取組項目	番号	内容	指標	目標値 H23	実績値 H23	自己評価	評価委員	目標値 H24	全体計画	実績及び成果等	平成23年度活動計画	評価委員指摘事項等
① 収入増加・確保対策	1	医師の増員	常勤医師数	収益150,000千円増	78,000千円増	B		収益100,000千円増	・平成22年度 増収額 200,000千円 内科医(透析医)1名、麻酔科医 1名。 ・平成23年度 増収額 100,000千円 内科医1名。	23年 内科医として医師1名増となった。しかし1月1月から産休のため、収益面では増収が十分得られなかった。 全体でも麻酔科医、総合医の確保ができず、大きな収益増は期待できなかったが、内科を中心として医業収益78,000千円の増額となった。	医師確保は至上命題であり、引き続き関連大学等への陳情を粘り強く推進する。	
	2	急性期看護補助体制加算(平成22年4月)	診療報酬	20,000千円	20,221千円増	A			平成23年度 20,000千円	平成22年4月より施設基準を満たし、算定を開始23年度は入院患者数が減少したため、全体の収益は22年度に比べて減少となった。	継続	
	3	医師事務作業補助者加算25対1(平成22年5月)	診療報酬	3,000千円	3,146千円増	A			平成23年度 3,000千円	平成22年5月より施設基準を満たし、算定を開始23年度は入院患者数が減少したため、全体の収益は22年度に比べて減少となった。	継続	
	4	一般病棟看護必要度加算(平成22年4月)	診療報酬	2,000千円	1,460千円	B			平成22年度 2,000千円	平成22年4月より施設基準を満たし、算定を開始23年度は入院患者数が減少したため、全体の収益は22年度に比べて減少となった。	継続	
	5	院外処方箋の発行抑制(発行率 68%→50%)	薬	50%	56.5% (7,560千円増加)	B			平成22年度 増収額 7,100千円 平成23年度 増収額 7,100千円 (平成21年度対比)	院内処方を増やすと入院の薬剤指導件数が減少するといった状況があり、24年度からは院外処方率を大きく向上させる政策へと転換を図った。 そのため、院外処方による増収も期待できるほど上がるものではなかった。	引き続き目標達成に努める	
	6	健診・ドック利用者の拡大	収入増加策	60,000千円 (年間健診センター利用額)	77,600千円	A		80,000千円 (年間健診センター利用額)	通常健診センター 77,000千円 土曜日ドック 3,000千円	土曜ドックや女性ドックといった取組は23年度はできなかったものの、特定健診や通常ドックを地道に増やして、結果として収益向上に繋げることができた。3月まで事務員が2名体制であったが、4月より3名体制とすることで十分予約に対応できるようになったことも好因である。	平日ドック利用者の増に努める。 土曜・女性ドックは現状医師確保に努めることで実現を目指す	
	7	領収書裏面広告(22年度から)及びホームページのバナー広告(平成21年10月)の開設	その他	800千円	90千円	B		300千円	増収額 800千円(H22) 増収額 800千円(H23)	病院バナー広告は22年度末まで0件であったが、営業活動を行い、23年度末までに3件新規で獲得することができた。しかしバナー広告だけでは目標数値の達成は困難であり、領収書の裏面広告等も含めて複数の手段を検討する必要がある。	・病院ホームページを充実することでバナー利用の促進を行う。 ・裏面広告は実例を研究し、導入に向けて検討する。	
	8	未収金の徴収強化—徴収専門員を配置し早期回収、訪問徴収の強化、法的措置(支払督促等)	未収金徴収	1,500千円	2,160千円	A		2,000千円	増収額 1,500千円(H21～H23)	23年5月より徴収専門員を採用。定期的な未収金回収も定着し、全体として22年度より多くの未収金を回収することができた。 またクレジットカードの対応、正職員による定期的な未収金回収作業を地道に行ったことで現年度や自賠責の未収金が全体として減少したことも大きい。	早期回収のため色別封筒等を利用するほか、徴収専門員による戦略的な徴収活動を実施する。	
総括:①収入増加・確保対策 190,237千円収入増												
(注) 1. 達成状況欄は、A:目標以上 B:一定の実績 C:実績なし により自己評価した												